

Photo Gallery

まちの話題や風景を写真で紹介



7月の「社会を明るくする運動強調月間」に合わせ、岩本幸久北播保護区西多分区保護司会副会長が片山市長へ総理大臣メッセージを伝達されました。(6月30日、西脇市役所)



藤井比早之国土交通大臣政務官を訪ね、国道175号西脇北バイパスの早期開通と黒田庄地区以北のルート決定・事業化を要望しました。(7月3日、国土交通省)



日本画家で市美術協会参与の長井位久子さんから大作4点を寄贈いただきました。作品は、市民会館や総合市民センター、アピカホールに展示しています。(6月30日)



市内の小学生56名と高校生4名で作した西脇市版「世界一大きな絵」が、東京国際(羽田)空港のスカイギャラリーに展示されました。(7月7日~14日、東京国際空港)

姉妹都市・レントン市へ派遣—アメリカで異文化を体験

〔7月6日 市民会館〕



派遣される14名の生徒と使節団団長・随行

西脇市の姉妹都市アメリカ・レントン市へ派遣される中学生親善使節団の結団式が行われました。同市への中学生の派遣は昭和62年から続いており、今回で31回目を迎えました。生徒は結団式で、「西脇の良さを伝えたい」「英語のコミュニケーション能力を伸ばしたい」など力強く抱負を語りました。

播州織の衣装を着たりカちゃん人形を展示

〔6月23日~ 東条湖おもちゃ王国〕



展示を担当した西脇高等学校生活情報科の生徒たち

東条湖おもちゃ王国のりカちゃんハウスで、播州織の衣装を着たりカちゃん人形が展示されています。衣裳は西脇高等学校生活情報科の生徒が、同校オリジナルブランド「しばざくら」の生地で作成。播州織や同校の取り組みを紹介したパネルとともに展示され、季節に応じた衣装に衣替えされます。

デンマークで播州織をPR—神戸市の天野剛子さん

〔8月17日~19日 デンマーク王国・オーデンセ市〕



アトスクールを営む一方で、播州織を用いて作品を制作する天野剛子さん

8月17日から19日まで、デンマーク王国オーデンセ市で行われる日本伝統文化芸術祭に播州織をあらわしたブーケなどの作品が展示されます。作品を手掛けたフラワードesignerの天野剛子さんは、「播州織を知ってもらおう絶好の機会。今後も作品に播州織を使い西脇市をPRしたい」と話されました。



(左) 播州織ゆかたファッションショー (右) 色とりどりの播州織浴衣を披露した参加者



中心市街地の活性化と播州織の魅力発信などを目的に、西脇TMOと西脇商工会議所が、「第9回七夕ゆかた祭り switch」に播州織の夏、スイッチ入りました」を開催しました。まつりでは、播州織ゆかたファッションショーや、音楽ライブのステージイベントが行われました。ファッションショーには、しばざくら幼稚園の園児や神戸芸術工科大学の学生らが出演。学生らは思い思いのアレンジを加えた色とりどりの播州織浴衣を披露し、ポーズが決まると、観客から大きな拍手が送られました。また、会場周辺の空き店舗を活用して、手作り雑貨の販売やオリジナルTシャツ作りのワークショップなどが行われたほか、スタンプリーも開催され、まつりは浴衣を着た多くの参加者でにぎわいました。

色とりどりの浴衣で播州織の魅力を発信

〔7月1日 播州織工房館ほか〕

まちの話題

このコーナーでは、イベントやまちの話題、団体の活動などを紹介しています。耳寄りな情報は秘書広報課まで(市役所内線207)。



大人気の1袋39円詰め放題セール

日頃のご愛顧に感謝して、「ありがとう6周年旬菜まつり」を開催しました。特価でのジャガイモやタマネギの詰め放題、小玉スイカの試食のほか、やきそばやかき氷、巻きずし、ラーメンなどの販売を行いました。平成23年7月に開店した北はりま農産物直売所は、利用者数が右肩上がりに増えるなど人気施設となっており、昨年度は過去最高となる約12万5千人に利用いただきました。

日頃のご愛顧に感謝

〔7月8日~9日 北はりま農産物直売所〕



発表した学生と長峯純一教授(前列右から4番目)、客野尚志教授(前列左から3番目)ら

関学生がまちの活性化策を提案

〔7月8日 生涯学習まちづくりセンター〕

関西学院大学で「都市財政論」を学ぶ学生たちが、片山市長や市民など約30名を前に、西脇市を対象とした研究成果を発表しました。平成28年3月に市と同大が締結した連携協定に基づく取り組みで、学生は4月から片山市長による授業を受講したり、市内でのフィールドワークで、調査したりしてきました。発表会では、学生ならではの視点で市の活性化策を提案しました。

紙面に載せきれないまちの話題がどんどん届きます。西脇市 facebook で情報発信中!